

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名 シンクレイヤ株式会社
 コード番号 1724 URL <http://www.synclayer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山口 正裕
 (氏名) 國江 敏

TEL 052-242-7875

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	793	△45.0	△407	—	△400	—	△255	—
24年3月期第1四半期	1,444	24.2	△155	—	△153	—	△107	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △250百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △93百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△70.15	—
24年3月期第1四半期	△29.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
25年3月期第1四半期	6,239	—	1,713	—	27.5	—	470.96	—
24年3月期	6,739	—	1,964	—	29.1	—	539.78	—

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,713百万円 24年3月期 1,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	8,630	37.0	280	—	260	—	150	—	41.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

従来、第2四半期累計期間の業績予想を記載しておりましたが、当社は業績に季節変動があり、売上高・利益共に下期に偏重する傾向があるため、第2四半期累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	4,033,780 株	24年3月期	4,033,780 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	395,138 株	24年3月期	395,138 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	3,638,642 株	24年3月期1Q	3,638,642 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましてはさまざまな不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、[添付資料]P. 2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、復興関連需要などを背景に穏やかに回復しつつあり、生産活動や設備投資に持ち直しの動きが見られますが、海外経済は未だ減速した状態にあり、欧州債務危機からの金融不安による円高傾向、世界的な株価の低迷が続くなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ケーブルテレビ業界におきましては、ケーブルテレビの加入者数※が平成24年3月末現在で2,765万世帯（平成23年3月末の加入者数は2,692万世帯）となり、普及率※は総世帯の51.6%になりました。また、ケーブルインターネットの加入者数も平成24年3月末には590万世帯（平成23年3月末の加入者数は567万世帯）と増加しております。

このような状況の下、当社グループは、FTTH（光ファイバによる家庭向け通信インフラ）関連機器や高速インターネットシステム・プライマリ電話システムに加えて、ケーブルWi-Fiシステム（ケーブル向け無線LANアクセスポイント及びコントローラ）、有線・無線告知放送システムの展開を進め、また、新たに館内デジタル自主放送システム（OFDM変調器）の提供も開始いたしました。その結果、工事案件の受注は比較的好調だったものの、前年度に見られたケーブルテレビ業界の設備投資意欲の一時的な減退により期初の受注残高が減少したことが影響し、連結売上高は793百万円（前年同四半期比45.0%減）、営業損失は407百万円（前年同四半期は155百万円の損失）、経常損失は400百万円（同153百万円の損失）、四半期純損失は255百万円（同107百万円の損失）となりました。

※総務省発表の「ケーブルテレビの現状 平成24年1月」より、加入者数と普及率がRF方式とIPマルチキャスト方式の合計に変更されております。

(参考) 平成25年3月期第1四半期の連結受注状況 (%表示は対前年同四半期増減率)

	受注金額		受注残高	
	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,193	27.7	2,216	5.1
24年3月期第1四半期	1,717	△18.6	2,108	△11.5
(参考) 24年3月期	5,282		816	

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,074百万円となり、前連結会計年度末に比べ504百万円減少いたしました。これは主に完成工事未収入金が739百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が4百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は6,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ499百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ315百万円減少いたしました。これは主に短期借入金300百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。これは主に長期借入金44百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,525百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ250百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失255百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は27.5%（前連結会計年度末は29.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想の数値から変更はございません。

なお、当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	879	845
受取手形及び売掛金	399	329
完成工事未収入金	1,207	468
商品及び製品	503	612
仕掛品	27	38
未成工事支出金	37	92
原材料及び貯蔵品	201	213
その他	332	482
貸倒引当金	△10	△8
流動資産合計	3,579	3,074
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,554	1,554
その他	2,741	2,770
減価償却累計額	△2,268	△2,291
有形固定資産合計	2,027	2,032
無形固定資産		
投資その他の資産	90	88
その他	1,040	1,042
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,036	1,038
固定資産合計	3,154	3,159
繰延資産		
	5	5
資産合計	6,739	6,239

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	622	589
工事未払金	285	138
短期借入金	300	—
1年内返済予定の長期借入金	603	581
1年内償還予定の社債	90	90
未払法人税等	4	1
賞与引当金	116	92
工事損失引当金	1	5
その他	226	437
流動負債合計	2,251	1,936
固定負債		
社債	240	240
長期借入金	1,021	1,066
退職給付引当金	1,258	1,281
その他	2	2
固定負債合計	2,523	2,589
負債合計	4,775	4,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	411	411
資本剰余金	390	390
利益剰余金	1,248	993
自己株式	△107	△107
株主資本合計	1,943	1,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△6
為替換算調整勘定	22	32
その他の包括利益累計額合計	20	25
純資産合計	1,964	1,713
負債純資産合計	6,739	6,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,444	793
売上原価	1,059	628
売上総利益	384	165
販売費及び一般管理費	540	573
営業損失(△)	△155	△407
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	3
為替差益	1	0
受取保険金	—	6
その他	3	1
営業外収益合計	9	12
営業外費用		
支払利息	6	5
その他	1	0
営業外費用合計	7	5
経常損失(△)	△153	△400
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	16	—
特別損失合計	17	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△171	△401
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	△64	△147
法人税等合計	△63	△146
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△107	△255
四半期純損失(△)	△107	△255

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△107	△255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△5
為替換算調整勘定	5	9
その他の包括利益合計	13	4
四半期包括利益	△93	△250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93	△250

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

当社グループは、ケーブルテレビ施設のシステムの最適化を図ることを目的としたケーブルシステム・インテグレーション事業を主な事業として営んでおり、単一事業であることから記載を省略しております。